

年	できごと
寛文6年 (1666年)	松前藩家老 蠣崎蔵人が、円空作白衣観音像を十勝明神社（現十勝神社）に奉獻
天明3年 (1783年)	十勝場所を松前藩蠣崎蔵人が支配
寛政10年 (1798年)	近藤重蔵ほかルベシベツ・ビタタヌンケ間3里弱の山道開削
嘉永3年 (1850年)	トカチの村数ピロオ他16村（190戸、1,162人）、うちピロオ（40戸、221人）、蝦夷地和人13,301戸、59,554人
安政6年 (1859年)	仙台藩がトカチを領有し、広尾の円山の麓に陣屋を設ける
明治2年 (1869年)	蝦夷地を北海道と改称、開拓使を設置 十勝国は1国7郡51村となり、当時の広尾は広尾郡茂寄村
明治13年 (1880年)	広尾、当縁郡戸長役場を茂寄村に置く
明治30年 (1897年)	茂寄村ほか3村の茂寄村戸長役場の管轄区域を割き、当縁郡歴舟村ほか2村に歴舟戸長役場が置かれ分村（現在の大樹町、幕別町忠類、豊頃町大津） 十勝各郡役所廃止となり、河西支庁の管轄となる
明治32年 (1899年)	広尾尋常高等小学校を中通5丁目に新築落成
明治39年 (1906年)	北海道2級町村制が施行され、当縁郡が廃止、その一部が広尾郡茂寄村に合併
大正9年 (1920年)	第1回国勢調査実施 1,504世帯、8,122人
大正15年 (1926年)	茂寄村を広尾村に改称
昭和3年 (1928年)	広尾村から大樹村を分村
昭和4年 (1929年)	広尾港築港起工式
昭和9年 (1934年)	日勝連絡道路（黄金道路、工費95万円余）全線開通
昭和21年 (1946年)	町制施行（広尾村→広尾町）
昭和23年 (1948年)	広尾町農業協同組合設立
昭和24年 (1949年)	広尾漁業協同組合設立
昭和26年 (1951年)	広尾港が避難港に指定
昭和27年 (1952年)	広尾高等学校落成・最初の公営住宅10戸建設（松風団地）・広尾町森林組合に改称
昭和30年 (1955年)	第1回港まつり・第1回桜まつり開催
昭和33年 (1958年)	広尾測候所開庁・開町90年記念式典
昭和35年 (1960年)	広尾町商工会設立・広尾町国民健康保険病院開院（丸山通南3丁目）
昭和36年 (1961年)	第1次港湾整備5か年計画発足
昭和37年 (1962年)	釧路海上保安部広尾分室が広尾海上保安署に昇格・広尾営林署開庁
昭和39年 (1964年)	広尾港を十勝港に改名・広尾町立老人ホーム開所（丸山通南3丁目）
昭和41年 (1966年)	広尾町児童福祉会館落成・十勝神社300年祭
昭和43年 (1968年)	開町記念日を9月20日に制定し、開町100年記念式典挙行・広尾小学校新築落成
昭和45年 (1970年)	一般道道浦河大樹線（現天馬街道）工事起工式・十勝港が道内8番目の重要港湾指定を受ける
昭和46年 (1971年)	南十勝消防事務組合設立・第1次広尾町総合開発振興計画スタート
昭和48年 (1973年)	人間環境宣言の町を町議会で議決し「人間環境宣言」を学ぶ国際会議開催・丸山保育所開設
昭和49年 (1974年)	老人福祉センター落成
昭和50年 (1975年)	広尾～浦幌間道路が国道336号に昇格
昭和51年 (1976年)	東京での北海道物産展に広尾町から海産物を出品（昆布、布海苔が人気）・第二小学校開校
昭和52年 (1977年)	広尾町青少年健全育成の町宣言・広尾駅舎落成
昭和53年 (1978年)	開町110年記念式典・財団法人広尾青少年教育協会設立
昭和54年 (1979年)	第1回つつじまつり開催
昭和55年 (1980年)	シーサイドパーク開園・ノルウェー国立水族館と広尾水族科学館姉妹締結・十勝港の貨物取扱量100万トン突破
昭和56年 (1981年)	特別養護老人ホーム開所・第2次広尾町総合発展計画スタート・広尾保健所移転落成
昭和57年 (1982年)	広尾町北方圏振興会設立・アイスストッカーが誕生
昭和58年 (1983年)	役場庁舎落成、広尾町立図書館が児童福祉会館に併設して開館
昭和59年 (1984年)	広尾高校が夏の甲子園大会に初出場 ノルウェー王国オスロ市が広尾町をサンタランドに認定
昭和61年 (1986年)	国鉄広尾線廃止・長崎県大島町（現：西海市）と姉妹提携・マイシティるる開店
昭和62年 (1987年)	町出身の大相撲力士「北勝海」（現：八角親方）が第61代横綱に昇進し、郷土入り 広尾町と芽室町「ふれあい宣言」・旧国鉄広尾駅舎が鉄道記念館としてオープン
昭和63年 (1988年)	開町120年記念式典及び記念事業として「十勝海洋博覧会」開催・公共下水道供用開始
平成元年 (1989年)	北海道まちづくり百選に広尾サンタランドが選ばれる・国民健康保険病院移転落成（公園通南4丁目）
平成2年 (1990年)	十勝港第3ふ頭完成
平成3年 (1991年)	十勝港に超大型外国船入港（43,594トン）・音調津海浜留学生受け入れ開始（10名） 人工海水浴場第1ビーチオープン・第3次広尾町総合発展計画スタート
平成4年 (1992年)	広尾測候所が夜間無人体制となる
平成5年 (1993年)	デイサービスセンター及びショートステイ施設落成
平成6年 (1994年)	音調津海浜体験交流施設落成
平成7年 (1995年)	防災行政無線施設設置・コミュニティグリーンパーク落成・新消防庁舎移転落成
平成8年 (1996年)	町制施行50年記念式典・フェリー就航及びフェリーターミナル落成 ノルウェー国フログン市との友好交流提携

年	できごと
平成9年 (1997年)	十勝と日高を結ぶ国道236号(天馬街道)が全線開通
平成10年 (1998年)	開町130年記念式典及び記念事業実施
平成11年 (1999年)	十勝港が開港し、税関釧路支署十勝出張所が開所 フェリー一運航廃止・養護老人ホーム移転落成
平成12年 (2000年)	十勝港が無線検疫大綱に基づく無線検疫港に指定される
平成13年 (2001年)	職員地域分担制スタート・丸山保育所内に子育て支援センター開設 第4次広尾町まちづくり推進総合計画スタート
平成14年 (2002年)	住民基本台帳ネットワークシステム開始
平成15年 (2003年)	生活支援ハウス「なごみ」落成・燃えるごみ及び燃やせないごみ有料化開始 広尾町都市計画マスタープラン策定・十勝沖地震発生(震度5強観測、十勝港で津波約2.7m観測) 南十勝二町任意合併協議会設立(広尾町・大樹町)
平成16年 (2004年)	都市間バス「高速ひろおサンタ号」運行開始・広尾町消防公設100周年記念式典 サンタランド認定20周年記念事業開催
平成17年 (2005年)	シーサイドパーク広尾の海洋水族科学館、海獣館、遊園地の3施設閉鎖
平成18年 (2006年)	南十勝二町任意合併協議会解散・広尾地区連携型中高一貫教育スタート 長崎県西海市との姉妹市町提携調印
平成19年 (2007年)	広尾町初のNPO法人「のーまひろお」設立 野塚中学校閉校(60年間)・音調津小学校閉校(113年間)・音調津中学校閉校(60年間)
平成20年 (2008年)	国民健康保険病院増築(診察室、待合室新設ほか)・開町140年記念式典及び記念事業開催
平成21年 (2009年)	十勝港で道内最大級飼料コンビナートの製造工場及び原料貯蔵サイロの建設着工
平成22年 (2010年)	飼料の原料とうもろこしを積んだパナマックス型大型船初入・飼料コンビナート落成、試験操業開始
平成23年 (2011年)	東北地方太平洋沖地震発生(広尾町震度3) 十勝港で2.8m超の津波を観測し、港湾、漁港施設などに10億円超の被害 第5次広尾町まちづくり推進総合計画スタート・広尾小学校と広尾第二小学校が統合 十勝港の年間貿易額が初の150億円突破
平成24年 (2012年)	芽室町との「うみとやまのふれあい交流」が25周年 大丸山森林公園に宿根草の花畑「サンタの丘」がオープン・サンタメール累計発送数200万通を突破
平成25年 (2013年)	広尾小学校横に学童保育施設落成・防災行政無線設備デジタル化工事実施 町立図書館30周年・サンタランドの新キャラクターに「さーたちゃん」誕生
平成26年 (2014年)	避難階段(音調津・入舟地区)整備・サンタランド認定30周年記念事業開催・十勝港に貯木場完成
平成27年 (2015年)	野塚小学校閉校(113年間)・十勝港まつり60周年(磯船競争・綱渡り競技復活) 最大瞬間風速40.2mの暴風により、12時間以上に及ぶ停電など多くの被害 「2015黄金道路ひろおサンタランドマラソン」が広尾町初開催
平成28年 (2016年)	南十勝消防事務組合解散・ひろお保育所と丸山保育所が広尾保育園に統合(公園通北2) 広尾浄水場が完成・広尾中新体育館が完成 史上4番目となる41.5mの暴風で5250戸が停電、過去最大の倒木が発生
平成29年 (2017年)	豊似中学校閉校(70年間)・広尾漁業協同組合の製氷貯氷施設が完成 台風18号の影響で、224世帯425人に避難勧告発令・広尾高校生向けの下宿「学生会館とかち」が開設
平成30年 (2018年)	広尾町150年記念式典及び記念事業開催・JAひろおのAコープサンタ村新店舗がオープン 北海道胆振東部地震の影響で、約2日間停電・旧広尾駅鉄道記念館が解体され、新たに広尾バス待合所が完成
令和元年 (2019年)	豊似小学校新校舎の落成式・認定こども園ひろお保育園が開園 町立病院が地方独立行政法人に移行・カントリーサインが「さーたちゃん」に変更
令和2年 (2020年)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くのイベントが中止
令和3年 (2021年)	太平洋沿岸で過去に例を見ない赤潮が発生、漁業や水産業に甚大な被害 サンタメールが「サンタカード」に改名・多機能型事業所「ゆうゆう舎」新築移転 第6次広尾町まちづくり推進総合計画スタート
令和4年 (2022年)	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたイベントの一部が、3年振りに開催
令和5年 (2023年)	海上自衛隊の南極観測船「しらせ」が10年ぶりに十勝港に寄港、2日間の一般公開に約6700人が来場
令和6年 (2024年)	十勝港と京浜港を結ぶコンテナ船の定期航路が開設 「日高山脈襟裳国定公園」が新たに「日高山脈襟裳十勝国立公園」として指定される サンタランド認定40周年記念事業開催・2050年までに「ゼロカーボンシティ」の実現を宣言